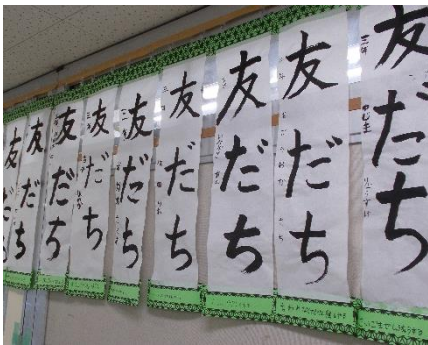


1月の学校風景



冬休み最後の日に雪が降りました。次の日は子どもたちの通学路も雪が積もっていました。登校時、「凍っていたところもあったよ。」「滑ると危ないから早めにご家を出てきたよ。」と話す子どもたちはうれしそうでした。校庭も雪で真っ白。担任と一緒に外に出てきて、真っ白な景色を見たり、雪に触れたりしました。

書き初めをしました。どの学年も気持ちを落ち着かせて取り組みました。子どもたちは「家での練習も頑張ったよ。」「去年より上手になったと思う。」と話など、仕上がりに満足そうでした。丁寧で力強い字が書くことができていました。今年の抱負も台紙や帯に書きました。作品は教室前の廊下等に掲示し、他学年の作品を鑑賞する時間をつくりました。



チャレンジタイムでは、赤組、青組、緑組に分かれて「なわとび運動会」に取り組んでいます。たてわりのペア同士で跳んだ回数を数え、その合計を競います。今年はずつきジュニア会議で『オニギニクス』のダンスを準備体操にする」ということをみんなで決めました。寒さの中でもみんなで楽しく体操しています。

最近子どもたちは「先生に聞いてもらうだけでいい」「相手には言わなくていい」ということが多いです。「じゃあ、あなたのつらかった気持ちは大丈夫なの」そんな心配が残ります。「ごめんね」「いいよ」そんなやりとりがずいぶん減ったなあと思います。自分のしたことを振り返り、反省し、相手はその気持ちを受け止める。少し前まではそんな光景が当たり前だったように思います。



このコロナ禍のせいでしょうか。SNSなど、面と向かって伝えなくてもいい方法がたくさん出回っているからでしょうか。子どもも大人も直接向かい合うことに億病になっている気がします。子どもたちの心の状態を理解し、周りの人とどんなかわり方ができるのか、どうしたら自分の気持ちも相手の気持ちも大切にできるのか、一緒に考えていきたいです。

思いを 届けて 受け止めて

人権学習



10～12月の間に、各学年で人権学習を行いました。1, 2年生は担任が読み聞かせをしました。4～6年生はゲストティーチャーの講話がありました。4年生は盲導犬を通して、視覚障害のある人の生活を知り、必要な人に適切な支援をすることによって障害は減らせることを学びました。3年生はボッチャを体験し、障害の度合いにかかわらずだれでも楽しめるスポーツがあるということを知りました。「誰もが、安心して、豊かに」生きるために、人とのかわり方について考えるよい時間がありました。

1月24日～28日 給食週間



一人ひとりが感謝の気持ちを込めて、調理員さんにメッセージを書きました。給食室前に掲示しています。



6年間ありがとうございます。食べられなくなるのが寂しいくらい大好きです。(6年生)

いつも給食がおいしくていっぱいおかわりしてしまいます。(3年生)

前は少ししか食べられなかったけど、今は全部くらい食べられるようになりました。(1年生)



1月25日 クラブ見学

クラブ見学がありました。活動の内容が分かるパンフレットを持って、3年生がいろいろなクラブを見て回りました。上級生が楽しそうに活動する姿を見て、「やってみたいな。」「すごく上手だね。」と話していました。

さつきが丘小学校ホームページ

さつきが丘小学校



学校生活の様子を掲載中!